

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	リハビリテーションの時間数が急性期脳卒中患者の機能的予後に与える影響の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者： 2020年4月から2022年3月31日までに脳卒中の診断で入院された方	
② 概要	
急性期の脳卒中では、早期から歩行練習などのリハビリテーションを実施することで身体機能の回復を促すことが報告されています。しかしながら、リハビリテーションの時間数が身体機能の予後に影響するかどうかは明らかになっていません。そのため、本研究はリハビリテーションの時間数をカルテから収集し、退院時の日常生活動作能力（歩行や階段昇降、食事、トイレ、入浴などの日常行われる動作の能力）に対する影響を明らかにするために計画しました。	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	発症直後の脳卒中の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータやアンケート調査を収集・解析することにより、入院中のリハビリテーションと退院後の予後の関係を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から2024年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに記載されている診療データやリハビリテーションの評価や時間数を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、身長、体重、病名、治療内容）、血液検査結果、生理機能検査結果、リハビリテーション内容、体組成評価、
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 佐藤陽一
⑪お問い合わせ先	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科 研究責任者 佐藤陽一 住所：南魚沼市浦佐 4132 電話：075-777-3200 アドレス：yoichi3041@med.niigata-u.ac.jp